

台湾における現地情報

2022年2月15日

株式会社フェアコンサルティング

坂下 幸紘

【台湾での新型コロナウイルス感染・対応状況】 ・感染者・死亡者速報通知(2022年2月14日付)

台湾では、2022年の年明けとともに海外からの帰国者によって感染が徐々に広がり、数十人程度の感染者を出しています。現時点では2022年2月28日まで、現状の第二級感染対策措置が続く予定です。



【出張に伴うビザ手続きの再開について】

台湾衛生福利部（衛生省）中央流行疫情指揮中心はビジネスに伴う出張での渡航条件を緩和する方針を発表しました。しかし、現時点で具体的な情報を発表されておらず、今後の検討事項となるとのことです。

【台湾への入境制限・特別入境許可について】

2021年5月19日から原則としてすべてのビザの発給を停止しており、現状も変更の予定はありません。ただし、台湾の管轄当局に特別入境許可を申請し、取得できた場合にのみビザ申請が可能という従来から一部実施されていた方法が、台北駐日経済文化代表処等の公式ホームページにも掲載されるようになっており、一部の企業において、この方法によりビザの取得を実現できている例があります。

特別入境許可申請に必要な書類及び書類に記載する主な内容は以下の通りです。

- ・在職証明書
- ・異動事例
- ・ワクチン接種証明
- ・防疫計画書
- ・申請文書（渡航派遣元、派遣先の会社・事業の概要、重要性、緊急性、代替不可能性、台湾経済への影響等を記載）

許可申請の提出先は会社の業種を管轄する省庁等になります。当局側の担当者が慣れていないこともあり、事前の確認を綿密に行いながら、進める必要があります。

【ノービザ滞在の再延長措置について】

1月27日内政部移民署は2020年3月21日以前に台湾に合法的に入境し、滞在期間が180日を超える場合は、30日間の滞在期間延長（20回目）を発表しました。延長には特段の手続きは不要であり、自動で延長されます。これにより既に台湾にいながら本来の滞在期間が過ぎてしまっていた外国人は、引き続き台湾滞在が可能です。ノービザ延長措置で滞在している日本人は自身がいつまで滞在可能か再度確認することをお勧めします。